

(別紙)

1 委託業務の実施状況及び利用者の利用状況

・利用許可

「とっとりバイオフィロンティアの設置及び管理の関する条例」「とっとりバイオフィロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」に基づき、利用許可を行った。

1か月以上の実験室、居室、動物飼育室及びオープンラボの利用許可にあたっては、条例、規則及び「とっとりバイオフィロンティア入居審査要領」に基づき、バイオフィロンティアの設置目的をより効果的に達成できると認められる者等に対し入居者選定審査会において審査した後利用許可を行った。

審査委員：鳥取県商工労働部産業振興課長

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所バイオ技術科長
公益財団法人鳥取県産業振興機構代表理事理事長

〃 事務局長
〃 とっとりバイオフィロンティア施設長
〃 バイオマネージャー
〃 プロジェクトディレクター

入居者

オープンラボ		染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター (株)テクノプロ テクノプロ R&D 社	平成 23 年 5 月 1 日～ 平成 28 年 4 月 1 日～
居室	301	(株) ケー・エー・シー	平成 27 年 4 月 1 日～
	302	財団法人鳥取バイオサイエンス振興会 株式会社 Trans Chromosomics	平成 23 年 5 月 12 日～ 平成 27 年 4 月 1 日～
	303	株式会社ジーピーシー研究所	平成 26 年 4 月 1 日～
	304	株式会社 chromocenter	平成 23 年 4 月 22 日～
実験室	311	株式会社 Trans Chromosomics	平成 27 年 4 月 1 日～
	312	株式会社 chromocenter	平成 23 年 4 月 22 日～
	313	株式会社ケー・エー・シー 鳥取ラボラトリー	平成 27 年 4 月 1 日～
	314	株式会社ジーピーシー研究所	平成 24 年 4 月 2 日～
動物飼育室	321	鳥取大学染色体工学研究センター 株式会社 Trans Chromosomics	平成 28 年 2 月 20 日～平成 28 年 4 月 30 日 平成 28 年 5 月 1 日～
	322	鳥取大学染色体工学研究センター 株式会社 Trans Chromosomics	平成 28 年 2 月 16 日～平成 28 年 4 月 15 日 平成 28 年 4 月 16 日～
	323	味の素 (株)	平成 23 年 11 月 14 日～平成 29 年 3 月 31 日
	324	株式会社ジーピーシー研究所	平成 25 年 6 月 3 日～

・開放機器等の利用状況

別表1のとおり

・各種委員会・部会及び連絡会の実施

別表2のとおり

・施設管理の状況

a 開館時間・休館日の状況

休館日は、土曜日及び日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）とし、開館時間は、休館日を除く日の9時から17時までとした。

b 個人情報の管理体制

公益財団法人鳥取県産業振興機構個人情報取扱規程（平成24年4月施行）により、個人情報が適切に保護されるよう配慮するとともに、業務上知り得た情報の漏えい及び目的外使用が生じないよう厳正な管理を行った。

c 情報公開

施設の管理運営に係る情報公開は、公益財団法人鳥取県産業振興機構情報公開規程（平成24年4月施行）により、適切に処理した。

d 点検・保守、警備、清掃等業務について

専門又は特殊技術を必要とするもの等業務の性質上職員で処理することが困難な業務、及び外部委託により処理することが業務の質を高め、又は経費の効率化及び利用者へのサービスの向上が期待できる業務は、外部委託により行った。

以下の賠償保険、機器火災保険等に加入した。

(単位：円)

保険名	契約先	選定方法	予算額	決算額	隋契理由	備考
動産総合 保険		随意契約	50,000	31,330	契約金額が 100万円 未満のため (1者見積)	施設賠償責 任保険
企業総合 保険		随意契約	444,000	444,000	契約金額が 100万円 未満のため (2者見積)	機器火災等 保険

以下の点検・保守業務については、外部委託を行い異常等は無かった。(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	点検回数等	予算額	決算額	期間
自家用電気工作物保守		入札	年6回 (4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月)	290,424	283,692	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
消防設備保守点検		随意契約	機器点検 年2回 (9月, 3月) 総合点検 年1回 (9月)	140,000	144,200	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
冷暖房機器点検		入札	年2回 (7月, 1月)	640,500	594,000	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
換気設備点検		入札	年2回 (7月, 1月)	854,700	874,800	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
実験用排水モニターシステム点検		入札	年12回 通常+1年点検(4月) 通常+分析点検(5月, 8月, 11月, 2月) 通常点検(6月, 7月, 9月, 10月, 12月, 1月, 3月)	811,440	831,600	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
自家用発電設備点検		入札	年2回 (5月, 11月)	184,118	127,764	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
作業環境測定		入札	年2回 (4月, 10月)	355,740	362,880	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
昇降機設備点検		随意契約	24H監視 (現場点検は年4回(5月, 8月, 11月, 2月))	793,800	816,480	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
鳥取大学5階空調設備保守点検		入札	年2回 (5月, 11月)		507,600	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
加圧給水ポンプ保守点検		随意契約	年1回 (6月)		54,000	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日

前記以外のP B X交換機等、LAN設備等、電気錠、加圧給水ポンプ、シャッター設備、ガス設備、監視カメラ、警報監視装置、集中検針装置の点検・保守業務について、設備の設置業者による点検管理を行い、異常はなかった。

また、放送設備、トイレ呼出装置、植栽の点検・管理は、施設職員が随時行った。

以下の保安警備業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
保安警備業務(防犯・火災)		入札	466,200	395,280	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日	当施設が鳥取大学と接続しており、連携した委託先である必要があるため (1者見積)

以下の清掃等業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	契約単価	決算額	期間	随契理由
一般廃棄物収集・処理業務		随意契約	96,000	可燃物 500/回(～5袋) 800/回(6袋～) 不燃物 1,300/回	89,856	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため (1者見積)
清掃業務		入札	1,491,000	月額 126,000	1,490,400	平成26年4月1日～	当施設が鳥取大学と接続しており、連携した委託先である必要があるため (1者見積)
産業廃棄物収集・処理業務		随意契約	144,000	感染性廃棄物 2,300/缶(200缶) 4,800/缶(500缶) 2,500/箱(450箱) 700/袋(450袋) 廃液(200) 1,300(廃油) 2,000(廃酸) 1,000(引火性廃油)	166,104	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため (1者見積)
白衣洗浄業務		随意契約	60,000	200/枚(ナイロン製) 250/枚(綿製)	87,048	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため

以下の情報発信、ホームページ等の保守管理については、制作業者に委託を行った。(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	決算額	期間	隋契理由
HPホスティング		随契	101,520	101,520	平成26年4月1日～	HP委託先である必要があるため (1者見積)
機器予約システムサーバー管理		随契	200,000	205,200	平成26年4月1日～	機器予約システム委託先である必要があるため (1者見積)

e リース契約について

業務で使用する物品や公用車のリース契約を行った。

(単位：円)

リース物件	リース先	選定方法	予算額	決算額	リース期間	備考
PC 5台		随意契約	453,600	41,860	平成28年4月4日～ 平成29年4月4日	再リース
PC 3台		随意契約	163,296	163,296	平成28年2月13日～ 平成31年3月31日	
ノートPC 1台		随意契約	6,868	6,868	平成27年7月25日 ～平成28年7月25日 平成28年7月25日 ～平成29年7月25日	再リース Mac
ノートPC 1台		随意契約	4,665	4,665	平成27年3月29日 ～平成29年3月21日	再リース
ノートPC 1台		随意契約	108,216	63,126	平成26年11月1日 ～平成28年10月31日	再リース
				10,821	平成28年11月1日 ～平成29年10月31日	
複写機		入札	329,700	329,700	平成27年2月13日 ～平成31年3月31日	
公用車		入札	405,720	371,910	平成26年4月1日 ～平成29年3月9日	(平成22年 3月10日から契約)
		随意契約		27,216	平成29年3月10日 ～平成31年3月9日	再リース

f 実験管理について

実験を行うに当たっては実験者からの申請書を基に、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会において審査を行って、適正な実験管理を実施した。実験の実施に当たっては利用者が各種法令に基づく適正な実験や動物管理が行えるようマニュアルを作成し、誰でも分かるよう掲示した。また動物実験実施者が施設および実験機器をより利用しやすくなるように、鳥取大学側と調整し、主にクリーンエリアとの行き来が可能となるよう管理マニュアルを改訂した。

g 薬品等の管理について

とっとりバイオフィロンティアの管理運営に関する協定書（以下「協定書」という。）に基づき定めたとっとりバイオフィロンティア化学物質管規則（平成27年4月1日施行）に基づき、実験、施設管理で必要となるキシレン、メタノールなどの薬品・有害物については、施設内にある倉庫内の薬品庫に保管し、管理台帳を基に使用に関し厳重に管理した。

平成27年度、鳥取県産業環境協会に施設内で使用されている化学物質の管理及び取扱いについてのコンサルティングを依頼し、とっとりバイオフィロンティア化学物質管理規則（案）及びマニュアル（案）の作成を進めた。平成28年度、具体的な運用に向けた取り組みとして県と協議し平成29年4月改正予定。次年度から化学物質管理委員会の開催等、本格的に運用することとした。

h 実験機器の管理について

実験機器については、日々作動確認を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる対応を行った。

(対応状況)

日付	機器名	内容	対応結果	修繕費(円)
4月13日	小型冷却遠心分離機	蓋パッキンが劣化し裂けている部分がある。	パッキン交換	修繕費 45,360円
5月9日	遺伝子抽出装置	保守点検（スポット点検）	点検、調整、動作確認	委託費 112,752円
5月18日	セルアナライザ	ローターエラー発生	点検・調整	保守契約により実施
6月23日	共焦点顕微鏡	保守点検	部品交換、40倍レンズ劣化	保守契約により実施
7月6日	セルアナライザ	フローチェックプロ測定データのピークが大きくなってきた	点検・調整	保守契約により実施
8月4日	染色体解析専用顕微鏡	保守点検	異常なし	保守契約により実施
8月18日	小型CO2インキュベータ	温度異常	基盤の交換	修繕費 130,680円
8月19日	酸素濃度計（ガス警報機）点検	保守点検（スポット点検）	点検、異常なし	スポット点検 124,200円

8月25日	セルアナライザ	保守点検	異常なし	保守契約により実施
9月6日	オゾン滅菌装置	保守点検 (スポット点検)	異常なし	委託費 330,750円
9月7日	大型遠心分離機 スイング型冷却遠心機 超遠心分離機	保守点検	異常なし	保守契約により実施
9月12~17日	クリーンベンチ 安全キャビネット ドラフトチャンパー オートクレーブ	保守点検	異常なし	保守契約により実施
9月21日	超純水・純水製造システム	水漏れ、UVランプ端子 腐食	部品交換	部品交換
10月24日	セルアナライザ	機器動作確認	点検・調整	点検・調整
10月25日	染色体解析専用顕微鏡	10倍レンズ修繕	レンズ交換 (メーカーが 修理対応できなかったため、 修繕価格で新品と交換)	レンズ交換 (メーカーが 修理対応できなかったため、 修繕価格で新品と交換)
10月25日	染色体解析専用顕微鏡	63倍レンズ修繕	レンズ交換 (メーカーが 修理対応できなかったため、 修繕価格で新品と交換)	レンズ交換 (メーカーが 修理対応できなかったため、 修繕価格で新品と交換)
10月24日	セルアナライザ	フローチェックプロ測定 のCV値が安定しない	点検・調整	点検・調整
12月9日	CO2インキュベータ(314実験室)	モーター (ファン) 故障	部品交換	部品交換
12月15日	共焦点顕微鏡	保守点検	異常なし	異常なし
12月15日	共焦点顕微鏡	40倍レンズ修繕	40倍レンズ修理完了	40倍レンズ修理完了
12月28日	セルアナライザ	フローチェックプロ測定 のデータ (赤レーザー) が安定しない	点検・調整	点検・調整
1月25日	CO2インキュベータ(314実験室)	CO2センサー故障	部品交換	部品交換
1月25日	CO2インキュベータ(0615-00)	モーター (ファン) 故障	部品交換	部品交換
1月26日 ~27日	恒温恒湿装置 (321実験室)	給水電磁弁の故障	部品交換	部品交換
2月15日	セルアナライザ	保守点検	異常なし	保守契約により実施

i 施設修繕について

- ・動物5階天井の点検口新設 (2箇所)
- ・動物5階天井裏の蒸気管の穴ふさぎ

- ・302居室ドアのパッキンはがれ
- ・実験用排水設備のセンサーホルダーが破損

j 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等について

施設管理に当たっては、火元責任者を定め、防火に努め、利用者の避難経路等を定め、火災、事故等を防止するため、開館時間帯は職員による巡回をし、開館時間外は警備委託により施設内の安全確認を行い、標準操作手順書の内容に沿った実験・動物管理を徹底し、事故防止に努めた。

とっとりバイオフィロントニア危機管理マニュアル及び動物施設危機管理マニュアルを策定し、危機管理に対する対応を明確化した。

k 施設環境・実験環境向上への取り組み

- ・協定書別記1-第2-4に基づき飲料水の自動販売機を設置。(H23年8月設置)

設置業者：

設置台数：1台

設置場所：とっとりバイオフィロントニア1階

手数料額：127,748円（取扱手数料率：販売価格の22%）

l 職員の資質向上に向けた研修等の実施について

日本実験動物技術者総会（機構が賛助会員）、支部総会、日本実験動物協会（機構が賛助会員）主催のセミナー、教育フォーラム、日本実験動物代替法学会、遺伝子組換え実験を安全に実施するための研修会、日経バイオテック（機構が会員であり定期購読中）主催のセミナー、日本バイオインダストリー協会（JBA）セミナー、iPSビジネス協議会等に積極的に参加し技術に対する最新情報の収集、参加者とのネットワーク構築に努めるとともに職員の資質向上に努めた。詳細は別表3参照のこと。

・PR活動等

- a 専門展示会出展及び学会・セミナー等に参加し、関係者に対する施設説明、パンフレットの配布などを行い、関係者への周知を図った。
- b バイオマネージャー及びR&Dコーディネーターを中心として、県内企業及び県外製薬企業などを訪問し、施設への入居及び開放機器の利用案内を行い施設利用促進に向けての活動を行った。
- c ホームページを利用し、施設の目的・概要、から利用料金まで幅広い情報を提供した。また、『facebook』を活用した情報発信も行った。
- d 企業へのPRを意識したパンフレット、DVDの制作、イベント時に資料を入れる紙袋やクリップ、布袋、スケール等のノベルティグッズを企画、作成し、イベント時に配布し、PRに努めた。

e バイオ系大型展示会に独自ブースを3回出展し、出展社セミナーの他、ブース内プレゼンも企画し共同出展の製品・技術PRを支援した。

・Biotech2016 (平成28年5月11-13日) : 共同出展企業6社 (株)chromocenter、(株)ケー・エー・シー、おしどり調剤薬局(有)、(株)テクノプロ・テクノプロ R&D 社、(株)ジーピーシー研究所、(株)Trans Chromosomics)

・BioJapan2016 (平成28年10月12-14日) : 共同出展企業7社 (アグセル研究所、おしどり調剤薬局(有)、(株)TransChromosomics、(株)ジーピーシー研究所、(株)マリンナノファイバー、(株)テクノプロ・テクノプロ R&D 社、(株)ケー・エー・シー)

・メディカルジャパン2017 (平成29年2月15-17日) : 共同出展企業3社 (株)テクノプロ・テクノプロ R&D 社、(株)アグセル研究所、おしどり調剤薬局(有)。

f 以下の海外企業訪問に同行し、人工染色体技術に関するPR、マッチングの可能性について提案した。米国サンフランシスコの企業訪問には、InfiniteBio, Inc. に専門家派遣として委託し同行してもらった。

・Shanghai Genon Biotech (中国・上海) (平成28年6月6-8日)

鳥取大学染色体工学研究センターに同行。

・Cristal Bioscience (米国・サンフランシスコ) (平成28年8月13日)

(株)TransChromosomics の訪問に InfiniteBio, Inc. に専門家として同行を委託。

(活動実績：詳細は別表3のとおり)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議・学会等でのPR	0	3	3	6	0	7	4	5	3	2	2	1	36回
新聞報道等	4	2	2	0	1	0	0	0	1	0	4	0	14回
企業訪問	3	7	8	8	5	4	5	3	7	3	1	2	56社

※企業訪問には、商談会等での企業マッチングも含む

・利用者支援の実施

a 鳥取大学の有する世界最先端の染色体工学技術を活用した共同研究やその成果の実用化を推進するため、当財団が総合調整機関となり実施している地域イノベーション戦略支援プログラム事業(文部科学省補助事業)により研究成果の事業化の推進を図った。バイオマネージャーにより利用企業等が持つ資源と大手製薬会社とのマッチングなどのコーディネート、ベンチャー企業のグラント獲得支援を行った。

b 鳥取大学が文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業への申請支援を行った。また、地域イノベーション・エコシステム形成プログラムの計画策定支援を行った。

- c バイオ関連学会・セミナー等に積極的に参加し、バイオ関連情報の収集に努め、施設利用者に最新のバイオ業界の動向やバイオ関連企業のニーズなどの情報提供を行った。
- d 利用者から要望のあった実験分析機器のメーカー担当者による使用に係る説明会・研修会を行い、実際の使用時にも財団担当職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。

(実施講座)

開催名	実施日	受講者数	備考
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会	6月23-24日	6	○対象：染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡を普段利用されている方 ○概要：本機器の取扱い方法を機器利用者の方に直接確認していただき、バイオ研究開発の進展に役立てる
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会 (第2回)	8月5日	4	○対象：染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡を普段利用されている方 ○概要：本機器の取扱い方法を機器利用者の方に直接確認していただき、バイオ研究開発の進展に役立てる
セルアナライザ取扱説明会	8月25-26日	13	○対象：セルアナライザ（フローサイトメーター）の基礎を学びたい方。普段利用されている方でより詳しく使用方法を知りたい方 ○概要：①フローサイトメーターに関する原理説明②実際の機器を利用して蛍光補正のとり方を中心としたデモを開催③一部個別相談も実施した
自動核酸抽出システム 「MagMax™ Express-96 Deep Well Magnetic Particle Processor」取扱 説明会（デモ）	12月7日	6	○対象：バイオベンチャー企業、ベンチャー企業を支援する団体、その他、鳥取大学スタッフ、学生 ○概要：新たな技術及び機器について学んでいただき、バイオ研究開発の進展に役立てる
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会 (第3回)	12月15-16日	12	○対象：染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡を普段利用されている方 ○概要：本機器の取扱い方法を機器利用者の方に直接確認していただき、バイオ研究開発の進展に役立てる
「Tyramide SuperBoost™ Kit」取扱説明会（試薬説明会）	1月16日	17	○対象：バイオベンチャー企業、ベンチャー企業を支援する団体、その他、鳥取大学スタッフ、学生 ○概要：新たな技術及び機器について学んでいただき、バイオ研究開発の進展に役立てる
「QIAcubeHT」取扱説明会	2月15日	5	○対象：バイオベンチャー企業、ベンチャー企業を支援する団体、その他、鳥取大学スタッフ、学生 ○概要：新たな技術及び機器について学んでいただき、バイオ研究開発の進展に役立てる

d バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。

今年度は、前述の技術習得セミナーと併せて人材育成セミナーを29回開催し、参加者は延べ656名が参加した。

(実施講座)

開催名	実施日	受講者数	備考
第一回 バイオ創薬研究会 1) バイオ創薬の現状-抗体医薬品を中心に- 2) 独自の革新的抗体技術と抗体医薬品への応用	平成 28 年 4 月 20 日 13:30~15:00	30名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 抗体医薬品の開発状況および市場動向の紹介と、進化を続ける抗体医薬創製技術の現状と展望に関する講演
先端バイオ技術セミナー バイオ医薬品とデリバリーシステム開発への挑戦	平成 28 年 5 月 31 日 16:00~18:20	31名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 バイオ医薬品の薬効を保障する製剤とデリバリー法を提供するマテリアルの開発について、細胞遺伝子治療を視野に入れ、薬剤が患部に送達され薬効を示すための最適戦略について考える講演
第二回 バイオ創薬研究会 1) 極限計測によるナノ励起を用いた新がん治療-Gセラノスティックスの新しい挑戦- 2) 抗ペプチド抗体、難しくありません	平成 28 年 6 月 3 日 15:00~17:00	18名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 ペプチド抗原を用いた抗体作製やその研究開発、またがん医療におけるナノ励起サイエンスの最新研究についての講演
実験動物テクニカルセミナー	平成 28 年 6 月 24 日 13:30~15:00	10名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 日本クレア(株)による、マウス尾静脈からの採血を容易に実施可能な実験器具を用いたセミナー
日本技術士会生物工学部門セミナー	平成 28 年 7 月 29 日 18:20~19:00	28名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 企業内および大学におけるキャリア開発/支援に対し技術士制度が担う役割についての講演
モノクローナル抗体作製技術について~使える抗体は取れるのか?~	平成 28 年 8 月 8 日 9:30~10:30	26名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 膜タンパク質抗原に対する抗体を効率的に取得する方法の解説と、モノクローナル抗体を医薬品に利用する際の現状と課題についての講演
1) 創薬初期段階における安全性評価 2) ヒト化マウスを用いた最近の薬物動態研究について	平成 28 年 9 月 1 日 15:00~16:00	31名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 創薬初期段階での安全性評価を迅速化することの重要性解説と、ヒト化マウスを用いた薬物動態研究の有効性についての講演
第三回 バイオ創薬研究会 染色体工学の創薬への挑戦	平成 28 年 9 月 9 日 13:00~16:30	100名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 創薬業界の動向解説、抗体医薬品開発における染色体工学技術の有用性、ならびに染色体工学が挑む創薬研究への新たな取り組みについての講演

バイオベンチャーのための知財構築と活用	平成 28 年 9 月 16 日 16:30~18:00	15名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 大学発バイオベンチャーが事業化に至るまでに考慮すべき知財の構築と活用についての講演
HLA 領域のゲノム多様性と個別化医療	平成 28 年 9 月 20 日 15:00~16:00	30名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 薬剤副作用回避やペプチドワクチンによるがん治療など、個別化医療に際し重要な HLA 多型についての講演
生物工学講座	平成 28 年 9 月 22 日 9:00~16:45、 9 月 23 日 9:00~15:00	25名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 ラボレベルでの研究段階から工場での大規模生産工程に至るまで、実学としてのバイオ技術を概説する講座と演習
染色体工学セミナー	平成 28 年 10 月 25 日 13:30~17:45、 26 日 9:00~15:00	11名	○対象 バイオ関連企業、学生 ○概要 染色体解析の手法を、実習を通して学ぶセミナー
In vitro 細胞アッセイの格段の生理学性向上を目指して	平成 28 年 11 月 8 日 15:30~16:30	33名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 細胞培養を行う際の酸素濃度制御の重要性解説と、酸素透過性シリコンゴム (PDMS) を用いた生理学的培養アッセイ研究の有効性についての講演
iPS/ES 細胞のアミノ酸代謝と未分化性制御	平成 28 年 11 月 11 日 11:00~12:00	34名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 ヒト iPS 細胞の分化制御に対し培地中アミノ酸組成が与える重要性の解説と、アミノ酸組成最適化培地の開発および有効性検証についての講演
バイオベンチャーが陥り易い、知財アライアンスにおけるリスクの傾向と対策	平成 28 年 12 月 6 日 15:30~17:30	21名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 バイオベンチャーが製薬企業とのアライアンス交渉で陥り易いリスクについて実例を紹介し実践/論理的観点からリスク回避/解決策を提示する講演。
マウス・ラットの異常と感染症	平成 28 年 12 月 8 日 15:30~17:30	16名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 異常所見を呈している実験動物から感染症を早期に検出し迅速に対応するために、注意を要する感染症の鑑別ポイントについて詳説する講演。
iPS 細胞や各種培養細胞・生体組織の生 (ライブ) 輸送デバイス	平成 28 年 12 月 16 日 15:30~16:30	10名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 培養細胞や生体組織を外気温の変動や振動から守り、活性状態を維持した輸送を可能にする新規デバイスについて解説する講演。
薬物の肝胆系輸送の重要性とその評価の現状と将来展望	平成 28 年 12 月 20 日 16:30~18:00	18名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 医薬品の体内動態に対しては、肝細胞内での代謝酵素のみならず肝取り込みと胆汁排泄に関与する膜輸送タンパク質群が重要な機能を担うことを詳説する講演。

医療イノベーションとレギュラトリーサイエンス—薬物投与技術为例として	平成 29 年 1 月 17 日 15:00~16:30	21 名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 薬物投与技術開発の現状と展望について対象となる医薬品、疾患、動態レベル、臓器、基盤となるサイエンス、製剤技術など広い観点から俯瞰し、最新の知見を詳説する講演。
バイオベンチャーの企業成長と EXIT 戦略	平成 29 年 1 月 27 日 14:00~16:00	13 名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 バイオベンチャーの経営者が知っておくべき企業価値、資金調達、事業撤退・再生の考え方などを解説する講演。
FLUIDIGM-C1 システムによるシングルセル解析	平成 29 年 2 月 10 日 10:00~12:00	11 名	○対象 バイオ関連企業、大学職員および学生 ○概要 集団を構成する個々の細胞毎の遺伝子解析は、これまで技術的に困難であった。このシングルセル解析を可能にした新技術について、原理と実践応用を解説する講演。
バイオ創薬が未来を拓く	平成 29 年 2 月 13 日 15:00~17:00	61 名	○対象 県内の産官学金関係者、および学生 ○概要 バイオ産業を通じた当地域の活性化について提言する講演。

・利用者からの要望・意見

利用者の要望、意見については 4 月に行った利用者への説明会兼意見交換会にて把握し、また、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。

(主な意見)

要望者	内容	対応
施設入居者	施設内の避難経路などの確認をする機会を設けて欲しい	各部屋の出入口付近に避難経路図を設置。避難訓練実施の検討をすることとした。
〃	停電時の非常用電源につながっているフリーザーはどれか教えて欲しい。	機器ごとに表示することとした。
〃	染色体解析専用顕微鏡の利用時に、同時に超遠心分離機が作動していると、取り込む画像がぶれてしまうことがある。共焦点顕微鏡のように耐震用の机にすることはできないか。	除震台の設置等検討したが、確実な改善効果が見込めず、価格も高額なことから現状でご利用いただく。
〃	商談室設置の TV 画面に PC 画面を表示させる方法の問合せがあった。	簡易取扱説明書を作成、設置した。

2 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

別表 4 のとおり

3 委託業務に係る経費の収支状況

収入

(単位：円)

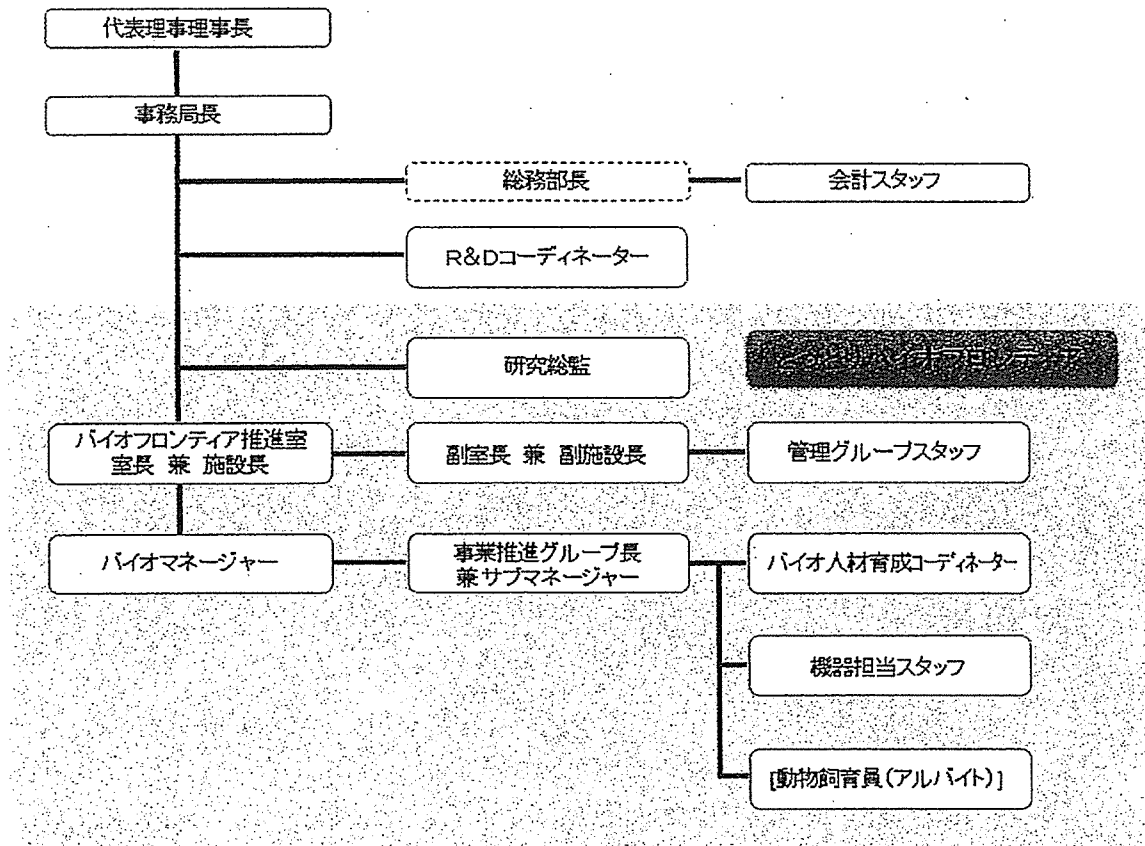
区分	予算額	決算額	差額	備考
利用料料金収入	8,220,000	8,414,312	-194,312	
機器利用料収入	3,360,000	3,561,711	-201,711	
ケージ管理料収入	5,076,000	9,151,240	-4,075,240	
その他収入	2,446,000	4,065,273	-1,619,273	施設利用料等
委託料収入	111,242,000	89,567,423	21,674,577	
合計	130,344,000	114,759,959	15,584,041	

支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
人件費(常勤職員)	5,121,000	30,357,154	3,049,846	※1
人件費(非常勤職員)	28,286,000			
管理運営費				
旅費	6,905,000	6,103,301	801,699	
消耗品費	11,523,000	8,245,235	3,277,765	
燃料費	72,000	26,627	45,373	
印刷製本費	750,000	142,560	607,440	
光熱水費	7,275,000	7,272,647	2,353	
広告宣伝費	1,500,000	37,800	1,462,200	
修繕料	2,564,000	2,185,477	378,523	
食糧費	600,000	557,310	42,690	
通信運搬費	851,000	773,732	77,268	
手数料、保険料	515,000	488,600	26,400	
賃金	771,000	298,175	472,825	
賃金に係る共済費	1,000	0	1,000	
報償費	2,969,000	3,032,328	-63,328	
使用料及び賃借料	11,382,000	7,557,342	3,824,658	
研修費	120,000	257,500	-137,500	
備品購入費	150,000	568,080	-418,080	
委託料	24,869,000	23,229,640	1,639,360	
負担金	22,620,000	21,103,292	1,516,708	
公課費	1,500,000	2,523,159	-1,023,159	
合計	130,344,000	114,759,959	15,584,041	

4 管理体制の状況



(別表1) 開放機器等の利用状況

○施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実験室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
居室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
動物飼育室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
オープンラボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
研修室(推進室利用分も含む)	25	25	25	27	20	23	26	15	26	15	21	17	265

○開放機器利用状況 (件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器	2,434	2,528	2,979	2,970	3,053	2,898	2,888	2,758	2,815	2,779	2,756	2,815	33,673
傾斜型バイオクリーンベンチ	43	24	63	43	54	59	56	78	51	32	53	40	596
倒立型生物顕微鏡	3	2	9	4	3	1	0	8	5	0	5	2	42
スイング型冷却遠心機	4	11	20	9	13	16	7	7	11	6	10	7	121
安全キャビネット	63	89	104	97	88	85	64	95	84	94	110	109	1,082
オートクレーブ	27	21	30	21	21	20	33	22	21	33	32	23	304
倒立型蛍光顕微鏡	19	22	21	17	21	29	23	25	18	11	13	27	246
実体顕微鏡	0	3	4	4	5	5	7	9	6	7	3	1	54
オールインワン顕微鏡	7	10	2	2	9	6	4	4	25	7	11	11	98
インキュベータ顕微鏡	3	0	0	0	3	0	0	10	0	2	0	4	22
セルアナライザ	17	13	26	17	18	20	18	28	45	28	36	25	291
タイムラプス発光細胞解析機	0	0	0	0	0	0	14	22	16	25	7	13	97
大型遠心分離機	13	14	10	0	14	12	29	28	25	11	49	28	231
超遠心分離機	3	0	1	0	0	4	3	13	6	2	4	3	39
小型冷却遠心機	19	28	33	30	32	12	6	12	39	29	38	17	295
化学発光・蛍光検出機	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5	7
ゲル撮影装置	88	95	108	121	79	77	87	71	68	82	50	19	945
微量サンプル計測設備	43	47	43	57	50	36	36	47	28	48	45	13	493
分光光度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却大型振とう培養器	10	7	11	1	6	6	10	2	2	8	14	0	77
冷却小型振とう培養器	22	23	23	18	34	6	0	7	4	20	22	28	207
大腸菌培養用インキュベーター	7	11	12	9	20	1	0	5	7	13	12	18	115
多核体サンプル粉砕器	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
超音波サンプル粉砕器	2	2	2	0	2	0	1	2	2	1	1	0	15
プレートリーダー	0	0	0	0	0	4	3	11	4	0	4	11	37
リアルタイムPCR	8	10	36	19	16	19	28	14	20	7	15	16	208
PCRマシン	27	74	71	95	78	74	106	53	52	73	66	68	837
遺伝子抽出装置	9	18	13	23	10	6	7	3	5	4	1	7	104
遺伝子導入装置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
共焦点顕微鏡	21	27	61	45	65	48	39	34	46	25	68	68	547
染色体解析専用顕微鏡	92	79	105	107	107	84	66	74	57	79	66	67	982
ドラフトチャンバー	2	0	0	2	4	4	4	3	2	0	4	0	25
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
パラフィン包埋ブロック作製装置	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
マイクローム	7	1	8	6	4	2	2	6	3	1	1	6	47
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸展器	7	1	8	6	4	2	2	6	3	1	1	8	49
感染防止対策用クリオスタット	0	0	0	0	4	1	1	8	4	2	4	0	24
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
バイオサンプル粉砕装置	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	1	0	6
生物顕微鏡(予イテングヘッド付き)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物組織固定用マイクローム(動物も凍結可能)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験器具自動洗浄機	5	5	7	3	7	3	7	5	3	7	8	2	62
乾燥減菌乾燥機	9	7	13	6	6	5	1	4	2	3	9	4	69
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
細胞保存用液体窒素タンク	210	217	210	217	241	240	248	240	248	248	224	248	2,791
薬用冷蔵ショーケース	510	527	510	527	530	538	562	540	558	568	523	558	6,441
超低温フリーザー	300	333	330	341	373	365	372	360	372	372	350	385	4,253
薬用保冷庫	360	395	570	589	596	570	511	390	410	407	376	412	5,586
薬用冷蔵庫	330	271	360	372	381	379	372	360	392	372	364	403	4,356
プログラムフリーザー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
スーパーエレクトロポレーター	1	1	1	2	0	3	1	0	1	0	2	0	12
CO2インキュベーター(1002-00)	0	7	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	311
ビームサイクラー 大型植物培養装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビームサイクラー 小型植物培養装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロインジェクションシステム	0	0	0	0	0	2	0	1	3	2	4	0	12
In vivo発行イメージングシステム	15	11	4	5	0	0	0	0	6	0	0	3	44
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型CO2インキュベーター	0	0	0	0	0	3	0	0	4	3	8	0	18
250mlのサンプル計測装置(実体顕微鏡を3台)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※推進室の利用分(無料分)の回数を含む集計。

○開放機器利用状況 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器	2,434	2,528	2,979	2,970	3,053	2,898	2,888	2,758	2,815	2,779	2,756	2,815	33,673
傾斜型バイオクリーンベンチ	43	24	63	43	54	59	58	78	51	32	53	40	596
倒立型生物顕微鏡	3	2	9	4	3	1	0	8	5	0	5	2	42
シングル型冷却遠心機	4	11	20	9	13	18	7	7	11	6	10	7	121
安全キャビネット	63	89	104	97	88	85	64	95	84	94	110	109	1,082
オートクレーブ	27	21	30	21	21	20	33	22	21	33	32	23	304
倒立型蛍光顕微鏡	19	22	21	17	21	29	23	25	18	11	13	27	246
実体顕微鏡	0	3	4	4	5	5	7	9	6	7	3	1	54
オールインワン顕微鏡	7	10	2	2	9	6	4	4	25	7	11	11	98
インキュベーター顕微鏡	3	0	0	0	3	0	0	10	0	2	0	4	22
セルアナライザ	17	13	26	17	18	20	18	28	45	28	36	25	291
タイムラプス蛍光細胞解析機	0	0	0	0	0	0	14	22	16	25	7	13	97
大型遠心分離機	13	14	10	0	14	12	29	26	25	11	49	28	231
超遠心分離機	3	0	1	0	0	4	3	13	6	2	4	3	39
小型冷却遠心機	19	28	33	30	32	12	6	12	39	29	38	17	295
化学発光・蛍光検出機	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5	7
ゲル撮影装置	88	95	108	121	79	77	87	71	88	82	50	19	945
微量サンプル計測設備	43	47	43	57	50	38	36	47	28	48	45	13	493
分光光度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却大型プレート培養器	10	7	11	1	6	8	10	2	2	8	14	0	77
冷却小型プレート培養器	22	23	23	18	34	6	0	7	4	20	22	28	207
大腸菌培養用インキュベーター	7	11	12	9	20	1	0	5	7	13	12	18	115
多様体サンプル粉砕器	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
超音波サンプル粉砕器	2	2	2	2	2	0	1	2	2	1	1	0	15
プレートリーダー	0	0	0	0	0	4	3	11	4	0	4	11	37
リアルタイムPCR	8	10	36	19	16	19	28	14	20	7	15	16	208
PCRマシン	27	74	71	95	78	74	106	53	52	73	66	68	837
遺伝子抽出装置	9	16	13	23	10	6	7	3	5	4	1	7	104
遺伝子導入装置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
共焦点顕微鏡	21	27	61	45	65	48	39	34	48	25	68	68	547
染色体解析専用顕微鏡	92	79	105	107	107	84	68	74	57	79	65	67	982
ドラフトチャンバー	2	0	0	2	4	4	4	3	2	0	4	0	25
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
パラフィン包埋ブロック作製装置	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
マイクローム	7	1	8	6	4	2	2	6	3	1	1	6	47
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸張器	7	1	8	6	4	2	2	6	3	1	1	8	49
感染防止対策用クリオスタット	0	0	0	0	4	1	1	8	4	2	4	0	24
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
バイオサンプル粉砕装置	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	1	0	6
生物顕微鏡(ディープニングヘッド付き)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生物顕微鏡(ディープニングヘッド付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験用器具自動洗浄機	5	5	7	3	7	3	7	5	3	7	8	2	82
乾熱滅菌乾燥機	9	7	13	6	6	5	1	4	2	3	9	4	69
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
細胞保存用液体窒素タンク	210	217	210	217	241	240	248	240	248	248	224	248	2,791
薬用冷蔵ショーケース	510	527	510	527	530	538	562	540	558	558	523	558	6,441
超低温フリーザー	300	333	330	341	373	365	372	360	372	372	350	385	4,253
薬用保冷庫	380	395	570	589	596	570	511	390	410	407	376	412	5,586
薬用冷蔵庫	330	271	360	372	381	379	372	360	392	372	364	403	4,356
プログラムフリーザー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
スーパーエレクトロポレーター	1	1	1	2	0	3	1	0	1	0	2	0	12
CO2インキュベーター(1002-00)	0	7	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	311
ビームサイクルー 大型顕微鏡有装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビームサイクルー 小型顕微鏡有装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロインジェクションシステム	0	0	0	0	0	2	0	1	3	2	4	0	12
In vivo発行イメージングシステム	15	11	4	5	0	0	0	0	6	0	0	3	44
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型CO2インキュベーター	0	0	0	0	0	3	0	0	4	3	8	0	18
2000年以降の大型顕微鏡(本体顕微鏡を指す)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※利用時間については利用料金に反映するため、推進室が利用した時間(無料分)は除き、有料部分のみを集計

○貸実験室等の入居状況

貸実験室等	借主	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
オープンラボ	染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター 特テクノプロ テクノプロR&D社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年5月1日～ 平成28年4月1日～
居室	301 株式会社ケー・エー・シー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	302 財団法人鳥取バイオサイエンス振興会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年5月12日～
	株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	303 株式会社ジーピーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成26年4月1日～
実験室	304 株式会社chromocenter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年4月22日～
	311 株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	312 株式会社chromocenter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年4月22日～
	313 株式会社ケー・エー・シー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	314 株式会社ジーピーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成24年4月2日～
動物飼育室	321 鳥取大学染色体工学研究センター													平成28年2月20日～平成28年4月30日
	株式会社Trans Chromosomics		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成28年5月1日～
	鳥取大学染色体工学研究センター	○												平成28年2月16日～平成28年4月15日
	株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成28年4月16日～
動物飼育室	323 味の素(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年11月14日～平成29年3月31日
	324 株式会社ジーピーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成25年6月3日～
入居者数		6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	

(別表2) 各種委員会・部会及び連絡会の実施状況

月	部会・ミーティング	地域イノベ・ 経産省事業関係	その他行事等
4		<ul style="list-style-type: none"> ・H27 経産省事業_確定検査 (4/5) ・研究推進部会 (4/11 湖山、キノコPJ関連) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者意見交換会 (4/22) ・機構支援メニュー説明会 (4/26 米子、4/27 倉吉、4/28 鳥取)
5			
6		<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進部会 (6/20、大学研究進捗報告会) ・研究推進部会 (6/21、キノコPJ関連) ・第1回 R&Dコーディネーター会議 (6/23) ・研究推進部会 (6/28 湖山、キノコPJ関連) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本技術士会生物工学部会セミナー (7/29)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオフィロンティア事業運営委員会人材育成部会 (7/25) ・バイオフィロンティア事業運営委員会研究企画部会 (7/27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオフィロンティア入居企業との個別ミーティング (7/4, 8, 11) 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオフィロンティア管理事務部会 (8/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進部会 (8/9 湖山、キノコPJ関連) 	
9		<ul style="list-style-type: none"> ・H27 地域イノベ確定調査 (9/26) 	
10			
11			
12		<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進部会 (12/7、大学研究進捗報告会) ・経済産業省 終了時評価委員会 (東京) (12/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者審査会 (12/6)
1		<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進部会 (1/11 湖山、キノコPJ関連) 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとりバイオイノベーション推進協議会・事業運営委員会合同会議 (2/13) 		
3		<ul style="list-style-type: none"> ・地域イノベーション戦略支援プログラム国際技術動調査ユニット会議(品川) (3/2) ・研究推進部会 (3/10 湖山、キノコPJ関連) 	

(別表3) PR活動等の状況

○イベント・交流会・セミナー等への参加、PR活動

名称	実施期間	参加者数
Bio tech 2016	5月11～13日	6社出展
iPSビジネス協議会 第20回情報交換会	5月13日	2名
企業戦略のための人材育成講座(第1回)「医薬品を取り巻く環境変化を読み解けば自社の取るべき道が見えてくる」	2016/5/27～28	2名
神戸医療産業都市クラスター交流会「再生医療における細胞材料開発の重要性」	6月10日	1名
鳥取大学研究交流会(戦略2-3)	6月21日	数名
第8回 遺伝子組換え実験安全研修会 ゲノム編集技術の普及 -その可能性と倫理的課題-	6月25日	1名
グローバルネットワーク協議会 全国支援ネットワーク会議	7月7日	2名
鳥取大学研究交流会(戦略2-4)	7月19日	数名
JBA ビジネスセミナー	7月19日	1名
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	7月22日	3名
ダイアログセミナー	7月26日	1名
企業戦略のための人材育成講座(第2回「研究開発の投資対効率について」	7月29～30日	2名
iPSビジネス協議会 第21回情報交換会	9月2日	1名
第6回北東アジア産業技術フォーラム	9月5日	4名
日経バイオテクプロフェッショナルセミナー 腸内菌叢を対象とした創薬の可能性	9月7日	1名
専門家派遣(井上氏:慶應大、リバネス)	9月8日	数十名
第3回バイオ創薬研究会	9月9日	数十名
関西実験動物研究会第131回研究会	9月10日	1名
第16回神戸ポートアイランド創薬フォーラム	9月13日	1名
第7回 実験動物管理者研修会	9月16-17日	2名
第12回鳥取県産学官コーディネーター連携推進会議	9月21日	3名
鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	9月23日	1名
第50回 日本実験動物技術者総会	9月29日-10月1日	2名
第3回企業戦略の為の人材育成講座	10月7-8日	約15名
ワークショップ「抗体医薬品製造の基礎」	10月11日	1名
BioJapan 2016	10月12-14日	約5000人/日
日本薬物動態学会第31回年会	10月13-15日	約1200人
第381回 本部共催 実験動物実技講習会	10月21-22日	1名

創薬メーカー公募説明会	11月1日	約20人
鳥取県地域協働型インターンシップ説明会	11月2日	6人
第29回 日本動物実験代替法学会	11月16-18日	1名
スクリーニング学研究会	11月25日	2人
JBA ビジネスセミナー	11月25日	1名
地域イノベーションポジウム2016 in 熊本	11月28-29日	3人
企業戦略のための人材育成講座(第4回「染色体工学技術と抗体医薬開発に関する勉強会」)	12月1日	約15人
とっとりテクノロジーイノベーションミーティング2016	12月14日	1名
グローバルネットワーク協議会中国ブロック支援人材ネットワーク構築会議	12月16日	2名
日本発の創薬技術・新薬のシンポジウム 第8回新たな創薬パラダイムの創出	1月13日	1名
平成28年度医療イノベーション人材育成プログラム特別講演会参加	1月27日	1名
メディカルジャパン2017	2月15-17日	3社出展
豆塾オープニングセミナー	2月24日	24名
第3回 FcR 研究フォーラム2017	3月1日	約100名

○意見交換等

内容	年月日	相手方
	4月22日	
	5月2日	
	5月19日	
	5月27日	
	7月6日	
	7月22日	
	7月25日	
	8月3日	
	8月4日	

	8月18日	
	8月19日	
	10月3日	
	10月12~31日	
	10月25日	
	10月27日	
	11月30日	
	12月9日	
	12月13日	
	12月15日	
	12月19日	
	12月21日	
	12月22日	
	1月11日	
	1月13日	
	1月23日	
	1月24日	
	1月26日	
	2月9日	
	2月20日	
	2月22日	
	2月28日	
	3月7日	
	3月10日	
	3月15日	

	3月16日	
	3月17日	
	3月22日	

○新聞等報道

新聞・雑誌等	掲載日時	概要
日本海新聞	2016年4月26日	アグセル研究所 境港のバイオベンチャー 添加剤を製品化 日本海の深海魚の体液で細胞の3次元培養促進
日本海新聞	2016年4月27日	鳥取大学 効率的製造のキチンNF アトピー悪化を抑制 実 用化目指す
日本海新聞	2016年4月28日	完全ヒト抗体産生ラット 年内第1号へヤマ場 難 病薬など活用期待
日本海新聞	2016年4月30日	とっとりバイオフロンティア開設5周年 ベンチャー企業者着々入室 遺伝子・再生医療への応用 バイオ医薬品の開発 に期待
日本海新聞	2016年5月18日	とっとり大学発・産学連携ファンド 2件目案件は カニ殻新素材 合銀・とっとり大学発ファンド
日本海新聞	2016年5月20日	カニ殻から抽出「キチンNF」製造販売・研究へ ベンチャー設立
日本海新聞	2016年6月9日	バイオベンチャー設立 肝疾患治療用細胞シート実 用化を目指す
日本海新聞	2016年6月20日	鳥取大学地方創生への挑戦 きのご資源の新たな活 用目指して
日本海新聞	2016年8月8日	鳥取大学地方創生への挑戦 人工染色体プロジェク ト
日本海新聞	2016年12月11日	鳥取バイオサイエンス財団に銀の会が寄付金
日本海新聞	2017年2月9日	鳥大に創薬開発拠点
山陰中央新報	2017年2月11日	鳥大 押村名誉教授 鳥取大 米子に新薬研究拠点 17年度 産学官連携で開発へ
日本海新聞	2017年2月15日	鳥大客員教授 藤田芳司氏 機構 バイオマネージャー 嵩原昇子氏 バイオベンチャー語る 鳥大客員教授ら講演
山陰中央新報	2017年2月15日	鳥大客員教授 藤田芳司氏 最先端研究が地域を活性化/米子でバイオ創薬セミ ナー

○その他広報

媒体	実施期間	費用等	概要
ホームページ	4月1日-	98,700円/年	機器利用、貸実験室等入居利用、セミナー開催、新規入居企業紹介、展示会出展案内、パンフレット改訂、プロモーションムービー公開等のお知らせ
BIOTECH 2016	5月11~13日	出展料 1,487,700 装飾 866,160	ブース出展、パンフレット配布（日本語版）、出展社セミナー、プロモーションムービー（日本語版）上映、ノベルティグッズ配布
Bio Japan 2016	10月12-14日	出展料 1,836,000 装飾 1,549,800	ブース出展、パンフレット配布、出展社セミナー、ブース内プレゼン企画、プロモーションムービー（日本語版）上映、ノベルティグッズ配布
日本薬物動態学会第31回年会	10月13-15日	216,000	ブース出展、パンフレット配布（日本語版）
機構メルマガ	12月14日	-	特別講座開催のお知らせ
メディカルジャパン 2017	2月15-17日	出展料 902,880 装飾 1,029,240	ブース出展、パンフレット配布（日本語版・英語版）、出展者セミナー、出展社セミナー、ブース内プレゼン企画、プロモーションムービー（日本語版・英語版）上映、ノベルティグッズ配布

○企業訪問活動

訪問先	実施期間	概要
	4月14日	
	4月20日	
	4月28日	
	5月2日	
	5月16日	

	5月16日	
	5月19日	
	5月27日	
	5月27日	
	5月31日	
	6月2日	
	6月2日	
	6月2日	
	6月3日	
	6月6-8日	
	6月13日	
	6月23日	
	6月23日	
	7月1日	
	7月4日	
	7月5日	
	7月6日	
	7月11日	
	7月12日	
	7月25日	
	7月27日	
	8月5日	
	8月10日	
	8月13日	
	8月18日	
	8月19日	
	9月6日	
	9月12日	
	9月13日	
	9月13日	

	10/21-22 日	
	10月22日	
	10月26日	
	10月27日	
	10月28日	
	11月22日	
	11月28日	
	11月29日	
	12月2日	
	12月2日	
	12月6日	
	12月7日	
	12月8日	
	12月19日	
	12月21日	
	1月18日	
	1月24日	
	1月31日	
	2月23日	

	3月24日	
	3月29日	

※商談会等でのマッチング企業も含む。

○視察対応

対応日	来訪人数	視察者名・団体名
平成28年4月19日	2	
平成28年4月27日	12	
平成28年4月28日	3	
平成28年5月10日	2	
平成28年5月31日	2	
平成28年6月3日	2	
平成28年6月23日	1	
平成28年6月23日	1	
平成28年7月8日	1	
平成28年7月28日	5	
平成28年7月29日	21	
平成28年9月8日	2	
平成28年9月21日	1	
平成28年10月21日	2	
平成28年10月22日	4	
平成28年10月25日	2	
平成28年11月8日	1	
平成28年11月11日	3	
平成28年11月29日	2	
平成28年11月30日	1	
平成28年12月21日	2	
平成29年2月23日	2	
平成29年3月16日	1	
平成29年3月22日	10	
平成29年3月27日	10	

(別表4) 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

○利用料金等の収入の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用料金収入	1,698,944	1,439,341	1,684,393	1,760,997	2,087,210	2,252,241	2,287,782	2,281,166	2,424,033	2,411,290	2,376,929	2,228,862	24,894,188
実験室	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	2,612,880
居室	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	1,393,200
動物飼育室	66,267	67,725	60,200	45,150	75,250	60,200	60,200	60,200	60,200	60,200	60,200	60,200	735,992
オープンラボ	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	3,191,760
オープンラボ内実験室	0	80,080	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	480,480
研修室	5,766	10,536	10,026	18,210	12,078	8,814	12,012	7,212	6,822	7,236	11,496	13,098	123,306
開放機器	240,420	226,600	236,970	286,340	282,820	304,570	280,120	291,080	315,120	387,828	320,150	301,110	3,473,128
光熱費(鳥犬・味の素は先々月分)	434,111	112,340	322,577	240,277	305,562	334,557	340,390	251,294	321,151	172,486	262,623	236,354	3,333,722
動物飼育ケージ管理料(3F)	24,760	26,560	23,680	22,360	26,080	52,640	40,560	28,360	72,760	52,040	15,720	12,960	398,480
動物飼育ケージ管理料(5F)	328,800	315,680	371,080	508,800	745,560	851,600	914,640	983,160	1,008,120	1,091,640	1,066,880	965,280	9,151,240
その他の収入 (自販機+預金利息+カードキ+再発行)	13,585	12,663	9,929	10,969	10,373	13,354	10,325	11,564	11,341	8,767	3,333	16,545	132,748
未収金	40,040	0	0	17,595	0	1,800	0	0	1,800	0	200	0	61,435
機器未収金	0	0	0	0	0	1,800	0	0	1,800	0	200	0	3,800
居室等未収金	40,040	0	0	15,050	0	0	0	0	0	0	0	0	55,090
その他未収金(光熱費)	0	0	0	2,545	0	0	0	0	0	0	0	0	2,545

○利用料金の減免の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	25	25	25	27	20	23	26	15	26	15	21	17	265
金額													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	2,268	2,898	5,040	2,898	3,654	3,276	3,402	2,520	2,646	2,268	3,402	3,024	37,296